

アカデミー賞[®]ノミネート・伝説のミュージカル映画が舞台でよみがえる！
トニー賞[®]受賞作品、ニューヨーク・ブロードウェイで生まれた傑作が異国で華開く！

どんな時でも笑っていていよう。
いつか良い時が来るから。



42nd ストリート

松竹ブロードウェイシネマ
SHOCHIKU BROADWAY CINEMA

ベギー・ツイヤー役 クレア・ハルス ドロシー・ブロック役 ボニー・ラングフォード ジュリアン・マッシュ役 トム・リスター ビリー・ローラー役 フィリップ・パートーリ マギー・ジョンソン役 ヤスナ・イヴィア アプナー・ティロン役 ブルース・モンタギュー
演出/共同脚本 マーク・ブランブル 共同脚本 マイケル・スチュワート 作曲/作詞 ハリー・ウォーレン&アル・ダビン 振付 ランディ・スキナー 監修デザイン ダグラス・W・シュミット 衣装デザイン ロジャー・カーク 照明デザイン ビーター・マムフォード
音響デザイン ギャレス・オーウェン プロダクション・マネージャー バトリック・モロニー、ケイト・ウェスト プロデューサー マイケル・リニット プロデューサー マイケル・グレード エグゼクティブ・プロデューサー (BroadwayHD) スチュアート・レーン&ボニー・カムリー

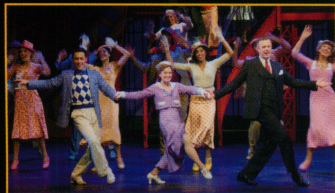
配給：松竹 ©BroadwayHD/松竹 (英国/2018/ビスタサイズ/135分/5.1ch) 日本語字幕スーパー版

BROADWAY HD
DIGITAL CINEMA

松竹ブロードウェイシネマ または、@ www.instagram.com/shochikucinema/ www.facebook.com/ShochikuBroadwayCinema

©BritishMaf/Managers 監修：大塚

伝説のミュージカル映画『四十二番街』を舞台化！
 数々の名場面に加え、究極の映像美「パークレイ・ショット」も惜しみなく再現。
 シネ・ミュージカルの醍醐味を一等席でご堪能ください。
 “本物”を映画館でお届けします！



【ストーリー】

今は心も体もボロボロに弱っている
 ジュリアン・マーシュは、演出家として
 新作ミュージカルに全力投球していた。
 その最中、プレミア前日に、主演女優の
 ドロシー・ブロックが怪我をしてしまう。
 その代役に選ばれたのは、群舞の中の一人である、
 ペギー・ソイヤーだった。厳しい世界で、
 果たしてジュリアンとペギーは成功出来るのであろうか……。



どんなに苦しくても希望がある

本作は、1933年公開の大ヒット・ミュージカル映画『四十二番街』を舞台化した作品です。『四十二番街』は、ミュージカル映画の画期的な位置にありました。誰もが知りたいと思う、競争社会の裏側を描いて、この作品に沢山の人が影響されたと言っても過言ではありません。中でも、カレイドスコープ(万華鏡)の様な、群舞のダンサーを絶妙な上の位置から撮影しているシーンは必見です。これは、「パークレイ・ショット」と言われていて、今では大変有名な手法となりました。

この映画を舞台化し、特別に撮影をしたのが、今回の『42nd ストリート』です。撮影には何台もの高性能カメラを使用し、映画館でもお楽しみ頂ける映像に仕上げました。群舞シーンの本番では、約50人はいるであろう大人数のダンサー達が、生き生きと迫力たっぷりに踊りあげます。その姿は、一度観たら絶対に忘れられない光景です。そして、もう1つ忘れてはならないのは、「希望」と言うストーリーです。主役のペギーは、夢を胸に秘め、新しい世界へ飛び立とうとします。

でもそこには、色々な困難が立ち
 はだかります。ペギーに限らず、
 誰だってそんな経験があるはず
 です。そんな時、「希望」と言う名
 の笑顔で前進して欲しい。そんな
 願いがこの作品には込められて
 います。世界中で大人気の
 『42nd ストリート』で約2時間の
 旅行をお楽しみください！

「松竹ブロードウェイシネマ」とは？

現代の舞台の本場はやはりアメリカ・ニューヨークのブロードウェイ。でも、そう簡単にニューヨークへ足を運ぶ事はなかなか難しい。そこで、お手頃な価格でゆったりと本場ブロードウェイの舞台を中心に数々の傑作を映画館でお楽しみ頂きたい—そんなコンセプトから誕生したのが、「松竹ブロードウェイシネマ」。松竹は映画や歌舞伎・演劇、その他沢山のエンターテインメントを扱っている、言ってみれば「総合芸術」な会社。だから映画と舞台の融合だって不思議じゃない。日本映画史上初で、ブロードウェイの舞台を松竹が“映画館”から皆様へ、《最高な形》でお届けします！